

令和4年6月16日

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
oo

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。もし、まわりに登録されていない方がいましたら、ぜひ登録をお勧めください。

登録先は、<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html> をご覧ください。

oo

【 本 号 の 内 容 】

【技術普及課からのお知らせ】

☆草刈りなど管理作業に注意！

(4月に発生した農作業死傷事故と6月のワンポイント)

【施策情報】

☆「農業技術の基本指針(令和4年改定)」が公表されました！

☆令和4年度「飼料用米多収日本一」コンテスト応募開始！

☆国際水準 GAP のオンライン学習ツール公開のお知らせ

☆農業用ハウスをお持ちの農家の方へ！これからの台風シーズンに備えましょう！

【病虫害発生予報の発表について】

☆「令和4年度 病虫害発生予報第3号」の発表について

++・…… 技術普及課からのお知らせ ……・++

=====

◆草刈りなど管理作業に注意！

(4月に発生した農作業死傷事故と6月のワンポイント)

=====

技術普及課では、農作業死亡事故、負傷事故の情報を発生月毎に集計し、農林水産省HPにて公表しています。

4月は33件の農作業中の死傷事故が報告され、このうち9件が死亡事故で、トラクターの転倒・転落が原因のものが3件、重機の転倒が原因のものが2件でした。不整地を重機で移動中にバランスを崩し転倒したケースが報告されていますので、不整地では低速でゆっくり走行しましょう。

また、直近2年の事故情報では、6月は田植え後の管理作業の事故(刈払機による死傷や用水路の見回り時の転落など)が報告されていますので、刈払機を使用の際は、左半分の先端から1/3の部分で、右から左に一方通行で刈り取りを行うこと、水路の管理を普段からこまめに行い、増水時は絶対に水路に近づかないようご注意ください。

普及指導員の皆様におかれましては、上記について広く周知いただき、農作業安全の推進にご協力いただきますようよろしくお願いします。

▼詳細はこちら

○農作業死傷事故の発生状況

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/jikojoho.html

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課（担当：木庭）

（０３－６７４４－２１１１）

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆「農業技術の基本指針(令和４年改定)」が公表されました！

【大臣官房政策課 技術政策室】

=====

「農業技術の基本指針」は、生産者が消費者に安全な農産物を安定的に届けられるよう、農業技術や食品の安全性に関する国のガイドラインや自然災害に対する最新の対策技術等を取りまとめたものです。

本指針は毎年、更新を行っており、本年は４月２７日に「農業技術の基本指針（令和４年改定）」として公表を行いました。主な改定内容については、下記プレスリリースをご確認ください。

本指針は、新しく農業を始められた方、ベテランの農業者の方、技術を指導する方にも、役立つ情報となっています。

普及指導員の皆様におかれましては、本指針をご活用いただくとともに、関係者への周知についてご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

○農業技術の基本指針(令和４年改定)

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/g_kihon_sisin/r4sisin.html

○「農業技術の基本指針(令和４年改定)」の公表について（プレスリリース）

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/kihyo03/220427.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房政策課 技術政策室（担当：藤田、田中）

（０３－６７４４－０４１５）

=====

◆令和４年度「飼料用米多収日本一」コンテスト応募開始！

【農産局穀物課】

=====

農林水産省及び一般社団法人日本飼料用米振興協会は、飼料用米の生産に取り組まれる農家の生産技術の向上を図るため、「飼料用米多収日本一」コンテス

トを平成28年度から開催しているところです。最優秀者には農林水産大臣賞が授与されます。

令和4年度の募集は、6月1日（水）から7月29日（金）までです。

普及指導員の皆様におかれましては、本コンテストに関心のある農業者の方がいらっしゃいましたら、下記のプレスリリースをご紹介しますようお願いいたします。

▼詳細はこちら

○令和4年度「飼料用米多収日本一」の募集を開始します（プレスリリース）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kokumotu/220601.html>

○令和4年度「飼料用米多収日本一」応募フォーム

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/nousan/kokumotu/220601.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 穀物課（担当：日高）（03-3502-5965）

=====

◆国際水準 GAP のオンライン学習ツール公開のお知らせ

【農産局農業環境対策課】

=====

この度、国際水準 GAP ガイドラインの策定を受け、これから GAP（Good Agricultural Practices：農業生産工程管理）に取り組む方に向けた、GAP の基本を学べる学習ツール「これから始める GAP」をリニューアルしました。また、GAP に関する動画もありますので、是非ご覧ください。

普及指導員の皆様におかれましては、農業者の方への GAP の普及・指導の際に、これらのコンテンツを活用いただければと思います。

▼詳細はこちら

○オンライン学習ツール

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/online_kensyu.html

○オンライン学習「これから始める GAP」

<https://gap.maff.go.jp/>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 農業環境対策課（担当：鳥海、中川、三浦）

（03-6744-7188）

=====

◆農業用ハウスをお持ちの農家の方へ！これからの台風シーズンに備えましょう！

【経営局保険監理官】

=====

今年もまもなく大雨・台風シーズンがやってきます。去年は台風8号が宮城県から、台風14号が福岡県から統計史上初めて上陸するなど、これまでの想定を外れたことが起きました。油断は禁物です！農業用ハウスの台風被害防止に向け、各種被害防止技術（下記URL参照）を参考に、日頃からの点検・保守管理、

補強などの対策が重要です。

また、農林水産省では、農業者が自ら日頃の対策を点検できる自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版BCP（事業継続計画）のフォーマット（園芸用）の活用を推進しています。

さらに、園芸施設共済等の農業保険への加入も重要です。近年は、手厚くなった補償に魅力を感じて加入される方が増えており、施設園芸農家の7割に利用いただいています。

普及指導員の皆様におかれましては、施設園芸農家の皆様に対し、農業版BCPの活用や園芸施設共済等の農業保険への加入を勧めていただきますよう、よろしくお願いします。

▼詳細はこちら

○施設園芸の台風、大雪等被害防止と早期復旧対策

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/engei/sisetsu/saigaitaisaku.html>

○自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストと農業版BCP

https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff_bcp.html

○農業保険（収入保険・農業共済）

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/index.html>

○各地域の農業共済組合（NOSAI）連絡先一覧

<https://www.maff.go.jp/j/keiei/nogyohoken/contact.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 保険監理官（担当：江守、横道）

（03-3502-7394）

++・…… 病虫害発生予報の発表について ……・++

=====

◆「令和4年度 病虫害発生予報第3号」の発表について

【消費・安全局植物防疫課】

=====

農林水産省は、令和4年6月8日（水）付けで、向こう1か月の農作物の病虫害発生動向や防除について「病虫害発生予報第3号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれましては、病虫害防除所と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○ 向こう1か月の主要な病虫害の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- 1 水稲では、縞葉枯病（ヒメトビウンカ）の発生が、北関東及び東海の一部の地域で多くなると予想されており、茨城県から注意報が発表されています。
- 2 野菜では、ねぎのべと病の発生が、北関東、北陸及び中国の一部の地域で多くなると予想されており、鳥取県からは注意報が発表されています。
- 3 果樹では、果樹カメムシ類の発生が、北東北、北関東、近畿及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、茨城県、奈良県、香川県及び愛媛県から注意報が発表されています。

この他、なしの黒星病等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

○「令和4年度 病害虫発生予報第3号」の発表について

○病害虫発生予察情報（過去の病害虫発生予報）

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課（担当：岡田、麻野、吉田）

$$(0\ 3\ -3\ 5\ 0\ 2\ -3\ 3\ 8\ 2)$$

* * * * *

* * * * *

6月といえば梅雨のシーズンが思い浮かびますが、一方でさくらんぼや梅が旬を迎えたり紫陽花が美しく咲いたりする時期でもあります。四季があり春と夏の間に梅雨のある地域は、日本や中国、台湾、韓国など日本周辺地域に限られています。この時期は、雨が続きじめじめしたうっとうしい日が続く、カビや食中毒が発生するなど、好きな人はあまりいないはずです。

梅雨は、集中的な降雨により災害を発生させる恐れがある一方で、空梅雨なら農作物の生育に悪影響を及ぼすことから農家の方は困りますし、喝水で生活用水が不足すればみんなが大騒ぎになるでしょう。また、梅雨の雨は森の木々の成長や、山や田畑の土壌養分は海に運ばれ、豊かな森や豊かな海をつくるという大事な役割を担っており、梅雨の雨もくらしや豊かな自然を育むという面で天の恵みといえるかもしれませんが、やはり、雨もそこそこに青空を待ち望みたいものです。

◎編集担当 Y◎

※メルマガの配信登録はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

※バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧ください、「Get Adobe Reader」

のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。